

案

令和7年 月 日

観音寺市長 佐伯 明浩 様

観音寺市新道の駅市民検討委員会
委員長 山 崎 隆 之

観音寺市新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画について（答申）

令和5年9月13日付け5観プ第19号にて諮問のありました観音寺市新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画について、次のとおり答申します。

答 申

観音寺市新道の駅市民検討委員会に諮問を受けた観音寺市新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画について、当委員会で審議を行った結果、本基本計画を妥当と認め、下記の意見を付して答申といたします。

今後、市長におかれましては、この答申の趣旨及び下記の諸点に充分留意の上、新「道の駅」かんおんじ（仮称）の整備効果を最大限に発揮させ、観音寺市が抱える課題の解決に繋がられますよう要望します。

記

- 1 新「道の駅」かんおんじ（仮称）の理念や内容のほか、今後の進捗等についても積極的に周知するとともに、広く市民の理解と協力を求め、整備を進められたい。
- 2 新「道の駅」かんおんじ（仮称）の機能・施設の具体的な検討にあたっては、市民や市内事業者、関係機関等と連携し、観音寺市の魅力や景観を活かした特徴のある道の駅となるよう整備を進められたい。
- 3 事業費については、物価上昇など社会情勢に注視しながら、適切な事業費で最も効果的な手法を選択されたい。
- 4 周辺地域の交通環境を悪化させないように進入路を含めた交通対策について適切に対応されたい。
- 5 新「道の駅」かんおんじ（仮称）を整備することが、「まち」と「道の駅」が一体で戦略的に連携して基本理念・基本目標の実現を成し遂げる取組となるよう、検討を進められたい。
- 6 年齢や性別、障がいの有無などの多様性を尊重し、誰もが利用しやすい道の駅となるよう整備を進められたい。
- 7 平常時や災害時、いずれの局面でも有効に活用できる道の駅となるよう整備を進められたい。